



# 市社協通信

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 2023年9月発行  
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)  
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)  
E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

広島市社会福祉協議会の取組等については、HP及びFacebookでもご覧いただけます。  
[HP] <https://shakyo-hiroshima.jp>  
[Facebook] <https://www.facebook.com/hirosimashishakyo>



東区

## 上温品地区社会福祉協議会が「ふるさとカルタ」を作成されました!

「地域団体連携支援基金事業費助成金」を活用した取組を紹介します。

本助成金は、地区社協と各種団体が連携した地域課題の解決(地域コミュニティの活性化を含む)に向けた取組を支援するものです。

### きっかけ

以前より、福祉のまちづくりプランで「上温品わが町ふるさと創生の推進」を計画しており、上温品の「ふるさと」を感じてもらえるものを作りたいという思いがありました。そのため、地域団体連携支援基金を活用して、「上温品ふるさとカルタ」を作成することにしました。



地域行事でカルタを活用することで、子どもからお年寄りまで、地域全体で「ふれあい」を深める活動の場づくりとなっています。

◀上温品地区社協の皆さま



▲読み札と取り札の募集チラシと、完成したカルタ

### 上温品ふるさとカルタができるまで

作成が決まり、令和3年度に「上温品ふるさとカルタプロジェクト」を立ち上げました。まずはチラシを配布し、温品福祉センターと上温品郵便局に応募箱を設置してもらい、上温品の自然や自慢などを題材にした読み札と取り札の募集を行いました。上温品小学校の児童やボランティアの方々と原版を作成し、取り札のデザインは広島県立安芸高等学校の生徒にも協力してもらいました。カルタを作成することで、地域の中で画像編集等のスキルを持った方と知り合う機会にもなりました。

### 上温品ふるさとカルタを作成して

上温品小学校や安芸高等学校の生徒に協力してもらうなど、地域内でのふれあいを深める活動となりました。

完成したカルタは、地区社協や町内会主催のサロンで使用したり、大判サイズを作成し、「上温品ちびっこ桜まつり」でカルタ大会を実施しました。また、協力いただいた上温品小学校の児童に記念品としてカルタを配付し、大変喜んでくれたと同時に、作成したカルタが上温品の子どものための郷土愛を育むための良きツールとなったと思っています。

さらに、今回の取組を知った県外に住む卒業生からも問い合わせがあり、より多くの方に上温品の「ふるさと」を感じてもらえることができたと思います。



▲上温品ちびっこ桜まつりのカルタ大会の様子

#### 申請から報告までの流れ

- ①地域内で本助成金の活用について協議
- ②申請書類を作成し、区社協へ申請
- ③助成金交付
- ④事業実施
- ⑤事業完了後、精算書類と事業内容の報告書を提出(完了)

申請期限は令和5年12月28日(木)までとなっています。  
申請をご検討の地(学)区社協は、期限内に申請をお願いします。



## 多様性を認めあえる社会を目指して

～ここいろhiroshima 5周年イベントを通じて～



以前にくらべ「LGBTQ」「多様性」といった言葉を耳にする機会が増え、その理解も少しずつ進みつつあるものの、できることも、解決すべきことも、まだまだたくさんあります。

悩みを抱える本人・家族・学校・その他多くの支援者の皆さん、それぞれどのような思いを胸に、未来を切り拓こうとしているのでしょうか。

このたび、LGBTQに関する活動を実施している団体で、本会も設立時より応援している「ここいろhiroshima (以下、ここいろ)」が、6月に5周年イベントを開催しましたのでご紹介します。

当日は二部構成で、一部では学校現場での実践事例の紹介、二部では当事者である共同代表の2人が、これまでの活動歴、そして描く未来について話されました。

※LGBTQ…セクシュアル・マイノリティ (性的少数者) を包括的に表現する言葉のひとつ



▲(左端より順に)  
公立小学校校長 森貞 小百合 先生  
広島修道大学 河口 和也 教授  
ここいろhiroshima 共同代表  
當山 敦己 さん・高畑 桜 さん

### すべての子が大切にされていると思える土壌を (森貞先生)



森貞先生は、以前に赴任されていた小学校でLGBTQ当事者の入学を経験しました。当時は森貞先生にも知識は無く、様々な機関等へ相談したそうです。

一度は「戸籍の性での入学」も保護者へ打診したそうですが、子どもの気持ちの尊重を願う保護者と話を重ねるにつれ「(戸籍の性で入学し)、はたして楽しく学校生活を送れるのだろうか…」と考えるように。そして悩んだ末、本人の望む性で学校生活を送れるよう迎え入れる決断をしました。

もちろん「自分が決断をしなければならぬ」という責任はとても重みのあるものだったそうですが、周囲の協力があってこそできた決断でもあったそうです(河口教授やここいろとのつながりもここから!)

そしてLGBTQの福祉教育を進める中で「相手を認め合う気持ちを大切にしたい」と考えるようになり、現在ではLGBTQにとどまらない多様性、さらには人権についての福祉教育に取り組んでいるそうです。



### 10年先を想像でき、希望が持てる社会を創る (ここいろhiroshima)



ここいろでは「居場所づくり」「啓発活動」「相談事業」を3本柱に活動しています。この5年間の周知・啓発の結果、1人で悩みを抱えず、ここいろへたどりついてくれるケースは一気に増えましたが、その増加ペースはとても早く、5年前の何倍にも増えています。居場所づくりはここいろのメンバーも協力ができますが、個別相談や出前授業は2人が実施しているため、マンパワーおよび資金不足が現在の課題となっており「講演会へ行きたくても行けない」「相談に返事をしたいけど返せない」というもどかしさを抱えています。

そのため、現在2人は横のつながりの構築や、HPのリニューアル等運営体制の強化を目指しています。そして、この講演会当日に開始したマンスリーサポーター制度(月額の手続き料)は「希望の種」と名づけました。皆さんからの支援は、ここいろが子どもや地域を支えられる団体となり、ビジョンである「10年先を想像でき、希望が持てる社会を創る」を実現させるための、まさに「希望の種」である意をこめて…。

2人はいつも「“ここいろ”は昔の自分達が欲しかったもの」と話してくれます。だからこそ「今“ここいろ”に集まってくれている子どもたちに、ただただ幸せになってほしい」と願っており、その実現に向けて走り続けています。



▲ここいろhiroshimaの仲間と準備した5周年サプライズも大成功!

「福祉」は“特定の誰かのためのもの”ではなく、皆のためにある概念です。森貞先生の実践はまさに、お互いが認め合うことで自分らしさが尊重され、毎日の学校生活を自分らしく豊かに過ごすことができるという、児童全員のための福祉教育実践といえるでしょう。

今回は学校での実践、そしてLGBTQに関する活動団体をご紹介しましたが、ボランティア情報センターでは、様々な団体と連携しながら、福祉教育の実践先や実践内容の、より一層の拡充を目指し、豊かな地域づくりを推進したいと思います。

この記事に関する問い合わせ先

ボランティア情報センター TEL:082-264-6408 FAX:082-264-6416

## 企業の社会貢献



6月16日の「和菓子の日」にちなみ、(社福)広島修道院で、広島県生菓子工業会から児童福祉施設14施設に和菓子647個が寄贈されました。「和菓子を通じて、少しでも子どもたちに笑顔が増えれば」との願いで、広島県生菓子工業会 田邊英樹会長から出席された施設の職員さん一人一人に和菓子が手渡されました。



● 広島修道院きずなの家  
前田施設長

いずれ子どもたちが大きくなった時に、働いたお金で周りの人に和菓子を買ってあげられるような心優しい子どもに育つよう、これからも養育に努めていきます。



マツダスタジアムの累計来場者2,400万人達成を記念して、マツダ(株)から広島市児童福祉施設連盟の会員施設である母子生活支援施設広島和光園へCX-8が寄贈され、7月5日に贈呈式が行われました。子どもたちは「乗り心地良いね!次はいつ乗れるん?」と大喜びで、行事を楽しみにしています。



● 母子生活支援施設広島和光園  
小泉施設長

寄贈していただき、日々の支援の幅や子どもたちの屋外活動での視野が大きく広がりました。この感謝をまた次に繋いでいくことが出来るひとりとなるよう、子どもたちを経験ゆたかに育んでいきたいと思ひます。

【この記事に関する問い合わせ先】 地域福祉推進課 事業係 TEL:082-264-6404 FAX:082-264-6413

## 令和5年度 広島市成年後見制度市民講演会

はじめてでもわかる  
知りたい!聞きたい! 成年後見!

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が十分でない方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために利用できる制度の一つに、「成年後見制度」があります。

高齢化や単身世帯の増加等により、年々その重要性が注目される成年後見制度を知っていただくため、各区で講演会を開催します。

参加費無料  
要申込

日時	会場	講師	定員
11月14日 [火] 13:30~15:00	安芸区総合福祉センター	社会福祉士	80名
11月15日 [水] 13:30~15:00	南区地域福祉センター	司法書士	80名

※来年2月にも開催を予定しています。

申込期間・  
申込方法 令和5年10月1日(日)~10月20日(金)

電話(土日祝を除く 8:30~17:15)、FAX、郵送、E-mail、  
広島市社会福祉協議会ホームページにてお申し込みください。



申込・  
問い合わせ先

広島市成年後見利用促進センター 〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま6階(社会福祉法人 広島市社会福祉協議会)

電話 082-207-3367 FAX 082-264-6437 Mail kouken@shakyohiroshima-city.or.jp

4年ぶり!!

## 2023「ひろしまフラワーフェスティバル」において ボランティアさん大活躍!!

新型コロナウイルス感染症が第5類感染症となり、様々な行事が再開される中「ひろしまフラワーフェスティバル」が令和5年6月10日・11日の2日間で開催され、延べ54名のボランティアさんに活動いただきました(\*^\_^\*)

活動内容は「パレード」での車いす介助や「ふれあいの広場」での綿菓子やカフェ、スパーボールすくいコーナーにおける来場者さんへの対応や、ステージ登壇者さんへの対応でした。来場された子どもさん等とのふれ合いの中で、ボランティアさんの笑顔もたくさん見ることができました★2日間、天候にも恵まれ、おかげをもちましてイベントも盛り上がり、無事終了することができました。参加いただいた皆さまありがとうございました!!

【この記事に関する問い合わせ先】 ボランティア情報センター TEL:082-264-6408 FAX:082-264-6416

本役員が改選されました(令和5年7月14日現在)

任期満了に伴い、役員(理事・監事)の一斉改選が行われました。地域福祉活動を一層推進するため、役員一丸となって取り組んでまいりますので、皆さまのより一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

※任期：令和5年7月14日から  
選任後2年以内に終了する会計年度のうち  
最終のものに関する定時評議員会最終の時まで

役員名簿(敬称略)

役職名	氏名	所属・職名
会長	永野正雄	㈱テレビ新広島客員
副会長	藤井紀子	広島市福祉施設連絡協議会会長 広島市老人福祉施設連盟会長
副会長	肥後井昭	広島市民生委員児童委員協議会会長
副会長	久保田詳三	佐伯区社会福祉協議会会長
副会長	大島正彦	安佐北区社会福祉協議会会長
常務理事	荒木清希	広島市社会福祉協議会常務理事
理事	和田高明	中区社会福祉協議会会長
理事	秋本昇	東区社会福祉協議会会長
理事	桑野富貴生	南区社会福祉協議会会長
理事	打越勲	西区社会福祉協議会会長
理事	上田昭人	安佐南区社会福祉協議会会長
理事	金月節男	安芸区社会福祉協議会会長
理事	天方淑枝	広島市障害福祉施設連盟会長
理事	山村拓哉	広島市児童福祉施設連盟会長
理事	松尾竜	広島市私立保育協会副理事長
理事	米川晃	広島市私立幼稚園協会理事長
理事	高橋博	公益財団法人広島市老人クラブ連合会会長
理事	向井助三	公益財団法人広島市身体障害者福祉団体連合会会長
理事	河野博子	広島市地域女性団体連絡協議会常任理事
理事	川口隆司	広島市社協ボランティア情報センター運営委員会委員
監事	栗栖和子	広島市民生委員児童委員協議会副会長
監事	藤原志保子	一般財団法人広島市母子寡婦福祉連合会会長
監事	田口久丈夫	一般社団法人広島市都市整備公社監事

この記事に関する問い合わせ先 総務課庶務係 TEL:082-264-6400 FAX:082-264-6437

令和4年度 広島市社会福祉協議会 決算報告

単位：千円

内 訳	社会福祉事業	公益事業	小 計
会費収入	22,189		22,189
分担金収入	30		30
寄附金収入	18,026		18,026
市補助金収入	741,980	22,247	764,227
市出捐金収入	12,685		12,685
助成金収入	5,000		5,000
共同募金配分金収入	36,664		36,664
受託金収入	558,695	58,572	617,267
貸付事業収入	5,279		5,279
事業収入	8,980	991	9,971
負担金収入	25		25
受取利息配当金収入	3,237		3,237
基金原資取崩収入	28,336		28,336
その他の収入等	95,011	437	95,448
前期末支払資金残高(繰越金)	346,971		346,971
計	1,883,108	82,247	1,965,355
法人運営等	275,048		275,048
まごころ銀行	14,394		14,394
福祉大会・広報	3,039		3,039
福祉のまちづくり支援	20,716		20,716
総合福祉センター等会館管理	39,823	75,949	115,772
シニア応援センター事業	15,722		15,722
ボランティア活動支援	5,831		5,831
災害被災者援助事業/生活再建サポート事業	1,034		1,034
日常生活自立支援事業	89,234		89,234
成年後見事業/利用促進センター運営(受託)	42,429		42,429
生活困窮者自立相談支援等事業(受託)	238,444		238,444
介護予防・日常生活支援総合事業等事業(受託)	108,435		108,435
障害者(児)ガイドヘルパー派遣事業(受託)	855		855
その他受託事業	879	188	1,067
基金運営	57,074		57,074
貸付事務	46,574		46,574
ちびっこ広場整備事業		3,368	3,368
シニア大学		1,595	1,595
区事務所運営事業	575,456		575,456
その他(次年度繰越金含む)	348,121	1,147	349,268
計	1,883,108	82,247	1,965,355

この記事に関する問い合わせ先【総務課庶務係】TEL:082-264-6400 FAX:082-264-6437



今年もよろしくお祈りします  
赤い羽根共同募金



令和4年度の赤い羽根共同募金運動に、多くの皆さまのご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症を原因とした市民生活の制限が徐々に緩和されるなか、地域や職場、学校などで募金活動にお取り組みいただき、73,077,355円の募金をお預かりしました。

これらの募金は、主に市内の区及び地(学)区社会福祉協議会や社会福祉団体へ配分しています。

今年度も10月1日から、全国規模で運動が展開されますので、昨年度に引き続き、皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●令和4年度共同募金の使途について

配分内容	配分額(円)	配分対象
地(学)区社協活動費	16,634,000	市内140地(学)区
福祉のまちづくり総合推進事業	21,000,000	社会福祉協議会
区社協活動費	1,124,791	各区社会福祉協議会
広島市域福祉団体・福祉施設	854,000	市内3団体
広島県域福祉団体・福祉施設 ※災害等準備金含む	33,464,564	県域福祉団体・福祉施設
合計	73,077,355	

●●●●● 令和6年度事業費の配分希望団体を募集します ●●●●●

広島市共同募金委員会は、安心・安全で住みよい福祉のまちづくりや、地域の福祉課題を解決するために活動している住民団体、ボランティアグループ、NPO等の福祉団体へ、公募による事業費の配分を行っています。応募期間は、令和5年10月1日～11月30日です。

詳しくは、[広島市社会福祉協議会ホームページ](#)→赤い羽根共同募金→福祉団体配分についてをご覧ください。

お問い合わせ 広島市共同募金委員会 〒732-0822 広島市南区松原町5-1 広島市総合福祉センター内 TEL:082-264-6400 FAX:082-264-6437

まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の皆さまから尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。【令和5年5月2日～7月21日(順不同)】

- 一般寄附預託者  
広島県高齢者健康福祉大学20期同期会東支部 様  
リーディングサービス広島 様/鳳凰 敦 様

- 物品預託者  
【「よしもとLIVE紙屋町劇場」公演入場チケット】  
中心市街地にぎわい創出推進協議会 様

【食品】

鹿島建設(株)中国支店 様/東洋羽毛中四国販売(株)広島営業所 様

【食品及び雑貨】

一商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」に基づく寄贈一株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様

【車いす】

ピップ(株) 様

皆さまから寄せいただいたご寄附は、高齢者・児童・障害者・生活困窮世帯の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

この記事に関する問い合わせ先

【総務課 庶務係】  
TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

令和5年度 社会福祉法人 広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(個人・会社・団体)も参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、身近な地域で福祉のまちづくりを進める広島市域の地(学)区社会福祉協議会の活動等で使わせていただきます。

【賛助会費】法人 10 10,000円 個人 10 1,000円

※口数は何口でも結構です。※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「所得控除・税額控除」「住民税控除額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

この記事に関する問い合わせ先【総務課 庶務係】TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437